

# 第74回 全日本空手道連盟系東会 系東流空手道大阪府選手権大会

## 競技規定

(公財)全日本空手道連盟競技規定 及び 大阪府系東会申し合わせ事項によって執り行う。

※参加選手が少ない場合は、競技中止あるいは、種目統合することがあります。

※全種目、出場者数等によって内容を変更することがあります。

※全国大会予選の部は、級・段に関係なく出場可能です。帯は赤/青帯を着用。(その他の帯は着用不可)

※全国大会予選以外(級・段別階級)の部は、下記の何れかの帯(系東会規約参照)を着用。(令和6年3月現在の級・段)

初級の部(無級、10～8級): 白帯・赤/青帯

中級の部(7～4級): 緑帯・紫帯・赤/青帯・白帯(茶帯・黒帯以外)

上級の部(3～1級、初段以上): 茶帯・黒帯・赤/青帯

段外の部(無級、10～1級): 白帯・緑帯・紫帯・茶帯・赤/青帯(黒帯以外)

有段の部(初段以上): 黒帯・赤/青帯

※系東会強化選手は、スーパーシードとして 形はベスト8、組手はベスト4になった時点からの出場です。(初戦敗退の場合は表彰なし)

※大会中に生じた事故、負傷についての応急処置はしますが、事後の責任は一切負いません。

※参加者は、必ず令和6年度スポーツ傷害保険に加入しておくこと。

### 形競技

#### 全国大会予選の部

	旗判定(トーナメント)4名以上の場合				
	1回戦	2回戦	3回戦	準準決勝戦まで	決勝戦、準決勝戦
	赤・青のフラッグで実施				
幼児	『最低1つの形でOK』				
	平安二段		平安の形 連続可		平安の形 連続可
小学1・2年生	『最低2つの形でOK』				
	平安二段	平安三段	平安の形 連続可 第1指定形		平安の形・第1指定形 連続可
小学3・4年生	『最低3つの形でOK』				
	平安三段	平安初段	平安の形 連続可 第1・第2指定形		平安の形・第1・第2指定形 1度演武した形は使用出来ない
小学5・6年生	『最低3つの形でOK』				
	平安四段	平安五段	平安の形 連続可 第1・第2指定形		平安の形・第1・第2指定形 1度演武した形は使用出来ない
中学生 少年・一般	『最低4つの形でOK』				
	第1指定形 クジにて決定	1回戦と異なる 第1指定形	第2指定形	得意形 1度演武した形可	得意形 使用していない形

※全試合1回戦～3回戦の基本形を優先(順守)して行う。

※3名以下の場合、点数制にて行う。

## 得意形一覧

平安初段	十手	征遠鎮	公相君大	パープーレン	鷲牌初段	十三	雲手	松風
平安二段	慈恩	バツサイ大	公相君小	スーパーリンペイ	鷲牌二段	十六	壮鎮	ワンシュー
平安三段	慈允	バツサイ小	四方公相君	北谷屋良公相君	鷲牌三段	セーパイ	ハフファ	シノーチン
平安四段	鎮東	泊バツサイ	二十八歩	松村ローハイ	クルルンファ	二十四	サイファ	
平安五段	鎮定	松村バツサイ	五十四歩	松村セーサン	アーナンコー	三十六	心波	

形は、系東会発行の系東流空手形全集1巻～8巻に沿った演武から逸脱した場合、反則負けの可能性も有ります。但し、ニーパイポと松村ローハイは、平成18年発行の書籍系東流空手形全集第2巻によるものとする。平安の形に於いては、全空連発行の空手道形教範基本形掲載の基本形Ⅱ平安初段～5段の通りとする。北谷屋良公相君とパープーレンは系東会で制定したもの以外は使用不可とする。

## 初級・中級・上級・段外・有段の部

	準決勝まで	決勝戦
	赤・青のフラッグで実施	
幼児 小学生 中学生	『最低1つの形でOK』	
	平安 連続可	
少年 一般	『最低1つの形でOK』	
	平安 連続可	全空連指定形 および 平安形 準決勝までに演武した形も使用可

## 組手競技

※幼児・小学生において、足払い、投げは、禁止です。

※安全具を必ず着用すること。着用していない場合は、出場できないことがあります。

また、安全具を着用せずに事故にあっても責任は負いません。

	全国大会予選の部	初級・中級・上級・段外・有段の部
メンホー	必須	必須
ボディプロテクター	必須	必須
拳サポーター	必須	必須
ファールカップ	必須 (*注 1)	必須 (*注 1)
シンガード	必須 (*注 2)	任意
インステップガード	必須 (*注 2)	任意

(\*注 1) ファールカップを着用していないことによる事故が増えています。  
責任者は小学3年生以上の選手に対し、必ず着用するよう指導してください。

(\*注 2) シンガード、インステップガードは赤、青の識別をします。  
必ず試合の赤色、青色識別コーナにあわせて装着のこと。白色は、赤、青どちらでも使用可。

幼児 小学生 中学生	1分フルタイム、6ポイント差で勝ちとする 終了時間同じ得点で、先取のない場合は、判定
少年 一般	1分30秒フルタイム、6ポイント差で勝ちとする 終了時間同じ得点で、先取のない場合は、判定